

令和5年度 第3回スポーツ推進審議会（議事録）

日 時：令和5年12月5日（火）午後1時30分～3時00分

場 所：西宮市立中央体育館 1階会議室

出席委員：会長：永田委員、佐藤委員、角南委員、中村委員、野村委員、則包委員、林委員、平野委員

欠席委員：副会長：小坂委員、米倉委員、徳村委員

事務局：スポーツ推進課（係長：嶋作、副主査：野畑・山村）、株式会社サーベイリサーチセンター大阪事務所（担当者：萬関）

傍聴者：なし

<議事内容>

（1） 第2期西宮市スポーツ推進計画素案に係るパブリックコメントの実施結果について

事務局：説明

会長：次世代アスリートの発掘の記載で西宮市体育協会への支援を記載しているが、アスレチック・リエゾン・西宮の記載をしても良いのではないか。

事務局：西宮市体育協会へは補助金を交付しているので記載した。アスレチック・リエゾン・西宮へは補助金の交付をしておらず、業務委託となるので支援とは性質が異なる。

委員：事業の実施主体の表記をしないと何を行っているか分からない可能性がある。

事務局：他の団体との兼合いで団体を特定できる記載はしないことで統一した。

会長：（資料を見ながら）小学校体育館をSC21が独占しているのは私も気になる。

事務局：実際には学校体育施設開放事業運営委員会が会議の中で決めているので独占しているわけではない。ただし実際にはSC21も多く使用している。

委員：私も先日グラウンドの使用のお願いをしに行ったところ、使用することを許可していただいた。多くの方が使用できることを知らないと思われる。今後部活動地域移行が進むにつれて学校施設の使用は必要になっていくと思う。また、中体連の大会にクラブチームが出場できるようになるのか、種目や自治体によって異なるのかを知りたい。

事務局：まだそこまで話が進んでいない。指導者の確保や受け皿をどうするかなど、もっと前段階の協議をしているところである。

委員：指導者の資格の有無等が必要になっていくのではないか。中体連のガイドラインでは土日どちらか休むように記載されているが、コーチや指導者たちの多くは平日に働いており平日に活動することが難しい。そのような状況下で土日のどちらかを休むとなると練習にならない。

会長：大学がクラブチームを作った際に大会に出場できるのかは私も気になる。

委員：中学校の大会に地域のクラブが参加できるように調整が始まったところである。委員の危惧されている大会参加資格の話も現在議論をしているところである。大会運営は学校の先生が行ってきたが今後地域の指導者の方も手伝っていただく必要がある。そのことを踏まえると指導者の資格も必要になっていくと思われる。現在教員の働き方改革、部

活動地域移行、大会参加資格の3つの話をしているが、同時に進めていくことは難しい。整理しながら順番に進めていく必要がある。

委員：スポーツ庁が行った運動能力に係る調査では、週一未満で運動・スポーツされている方が、40代女性で6割を超えているという記事があった。現状のままで10年後を迎えると、運動していない層がそのまま次の年代層に移行するため、各年代で運動・スポーツをしない人が増加すると予想される。資料P16でスポーツをしない理由の一番に仕事が忙しいとある。現在インターネットでも発信していると思われるがそれは個人に対しての発信であり、今後はSNSで誰かとシェアすることを意識した取り組みが重要になってくるのではないかと。今行っていることを他の誰かにシェアするという点に対して、行政としてどこまで携わっていくのか、市は実行段階として踏み込んでいくことが課題となってくる。

事務局：使えるものはどんどん使っていきたいと考えている。

委員：誰かが行っているから運動・スポーツを行おうという人もいるので、SNSでの発信は重要かと考える。

事務局：市としても、X（旧Twitter）やFacebookなどのSNSを活用しているが、効果的な活用方法を見いだせていないのが現状である。

委員：Facebookについては、若年層はあまり見ておらず、40代以上が見ていると思われる。

事務局：確かに、現在の若年層はInstagramやTikTokがメインと思われるが、市がアカウントを保有していないので活用することが難しい。

委員：市政ニュースなどは見ている人が多いと思う。

会長：ならば、そちらも充実させなければならない。

事務局：市政ニュースについては、中高年層は見ていると思われるが、若年層は見えていないと思われる。また、事業を行う際には、原則市政ニュースに掲載するようにしている。各年齢層に向けて情報を適切に届けることが難しいと日々感じている。

委員：スポーツの関心率はどうだったか。

事務局：関心率も下がっている。

委員：チョコザップが流行っている理由も資料P16のスポーツをしていない理由をすべてクリアしているからだと思う。行政がどこまでできるか分からないが手軽に運動できる環境があることは非常に大事だと思う。

事務局：どのように運動実施率向上にアプローチしていくのか、今後の課題として検討していきたい。ブラッシュアップしながら事業を行っていきたいと考える。

会長：概要版のP3下段の問合せ先にメールアドレスを記載すべきでは。FAXは不要かと。

事務局：承知した。FAXは使用されている方がまだおられるので記載が必要である。

（2） 中学生の部活動地域移行に向けたアンケート調査について

事務局：説明

委員：回答者がどこまでを指導者として考えるのかが重要であると考えている。中学校の部活動指導者レベルなのか大学生等のようにお手本を見せられるレベルなのか。指導者の中にも

グラデーションがあり、それぞれの層を作って指導者を育てていく必要があると思う。
今回の回答数が少なくても市内のリソースが少ないわけではなく、少しアバウトなので回答しづらかったと思う。

事務局：指導者にどこまで求めるかは協議段階なので明確に示すことが出来なかった。

委員：他市の部活動地域移行協議会の委員を務めておりそこでも話をしているが、市内の指導者に限定するのではなく他市の人材も巻き込んでいく必要があると思う。

委員：中学校の部活動はスポーツを通して子供たちに何かを伝えていくことが必要と思う。資格等だけではなく理念をしっかりと固めた上で進めていく必要があると思う。

事務局：軸である理念はしっかりと固めた上で技術面等の枝葉を作っていく必要がある。軸を固めた上で、コンセンサスを取りながら進めていく予定である。

委員：子供の為とってハラスメントを行うものもいるので注意が必要である。他市では子供向けや保護者向けアンケートを行っている自治体も多いが西宮市はどうか。

事務局：まずは今回のアンケートを行った上で必要に応じて子供向けや保護者向けアンケートを行う可能性もあるが、現段階では未定である。

(3) その他

事務局：(今後のスケジュールについて) 説明

会長：部活動地域移行の講演会についてみなさんにも参加を促した方がよいのではないか。

事務局：当審議会委員が参加可能か調べて、可能であるならばメールで周知する。

以上